

秋のゴルフ会 (輝く青春) ゴルフ同好会活動報告

鶴田 巖

十月十一日、高根カントリークラブにて恒例のゴルフ会を開催。秋季には異常な暑さの中、ゴルフをこよなく愛するご長老小垣原郁子氏を筆頭に、高橋嘉信氏、飯倉英行氏に筆者(鶴田)の四名が腕を競いあいました。老人達の華麗なスウィングから、雲ひとつない青空に、白球が高々と吸い込まれてゆく。爽快!!そして昼食時には、母校の絆、西東京市でのご縁をしみじみと感じながら、会話が弾みました。小垣原先輩は、今年西東京市より米寿祝いを受けられた由。知らぬ事とは言え驚きました。今回四人の平均年齢は、七十八歳。流石に残り三ホールは、暑さと疲労の為、登坂で膝もガクガクした時、米寿の先輩は息も乱さず、サッサッと歩かれる後ろ姿には、本当にビックリでした。秋の一日、心地よい汗を流し、サミュエル・ウルマンの詩『青春』を実感しました。お互い健康に留意して、来春の再開を約し、帰路につきました。

青春

原作 サミュエル・ウルマン

邦訳 岡田 義夫

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。

優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、  
こう言う様相を青春と言うのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときに初めて老いが来る。

歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。

苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、  
精気ある魂をも芥に帰せしめてしまう。

年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。

曰く、驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、  
事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる、

人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる、

希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜悦、勇気と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、  
人の若さは失われない。

これらの靈感が絶え、悲嘆の白雪が人の心の奥までも蔽いつくし、皮肉の厚氷がこれを堅くと  
ぎすに至れば、この時にこそ人は全く老いて、神の憐れみを乞うる他はなくなる。

編集者追記

## 新入会員の自己紹介



### 山本祐美（2014年 政治経済学部卒）

この度、西東京紫紺会に入会させていただきました2014年（平成26年）政治経済学部卒業の山本祐美です。現在の住まいは代田橋（明大前の隣駅）ながら、実家が田無であることでご縁をいただき入会いたしました。

親の仕事の都合で幼少期を名古屋で過ごし気持ちは愛知県出身ですが、武蔵野日赤病院生まれの東京都武蔵野市出身です（小学校6年生で田無小学校に転入、卒業いたしました）。

高校卒業までは剣道を習っており、西東京市民会館やきらっとで汗を流しておりました。

大学時代はもっぱらアルバイトに励み、貯めたお金で旅行に行くことが楽しみでした。

西武線沿線育ちの結果、埼玉西武ライオンズの大ファンです。（栗山巧選手の2000本安打記念グッズは大人買いをいたしました・・・！）

六大学野球観戦も好きで、応援団の全力応援に合わせて歌ったり踊ったり、勝ち負けに関わらずパワーをもらっています！

社会人生活は今年で8年目となりますが、昨年から続く在宅勤務のリズムに中々乗ることが出来ずまだまだだと痛感しております。

皆様ともこの状況下で直接お会いできる機会が無い中、ご厚意でZoomでのお話の場を設けていただき、諸先輩方の優しさに触れ、これから色々学ばせていただきたいと感じております。

在学中はあまり積極的に校内行事に参加していなかった分、これからの皆様との交流の中で母校愛を育ていけたらと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

（写真は六大学野球観戦時のもので、左から私、めいじろう、友人との3ショットです）



### 柳沢 薫（2019年 政治経済学部卒）

はじめまして。本年度より西東京紫紺会に入会致しました、H31 政経卒の柳沢薫と申します。祖父が明大 OB（現在 91 歳）で、子供のころから明治に憧れを持っていました。そのため、在学中は勿論、今も明治が大好きです（笑）。

在学中から競走部(長距離)の熱烈なファンで、駅伝や予選会、各種記録会に頻繁に足を運んでいます。普段は SNS やブログを通じてレースの結果をまとめるなど、陰ながら応援をしています。実は先述の祖父も箱根駅伝経験者で、アンカー10区に二度出走しています。

私自身も大学時代から走り始めたランナーです。トラック(競技場)のレースを中心に、1500m という短い距離から 60km マラソンまで幅広く競技に取り組んでいます。

中学・高校時代は吹奏楽部に所属しており、さらに趣味はピアノと文化系の人間でした。今もピアノは楽しむ程度に弾いています。他にも鉄道での鈍行ひとり旅が好きで、北海道一周や東北一周、広島まで在来線の旅など様々な場所に足を運んでいます。コロナが収束したら、九州の旅もしてみたいなと考えています。



現在は社会情勢上直接お会い出来る機会が非常に少ないですが、入会した以上皆さんと沢山交流を図りたいと思っています(特に六大学野球など大勢で応援に行ってみたいですね)。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

**新入会員歓迎会を12月12日(日)12時から武蔵野食堂で開催予定。**新入会員の皆様は是非！役員のみならず会員の皆様も是非！ご参加ください。会費：新入会員は無料、その他会員は有料(金額は申込時に確認ください)。参加希望者は担当伊藤までお問い合わせください。  
問い合わせ先：伊藤 kazitoh@hotmail.co.jp

## 会員の皆様へのお願い

1. 西東京市地域支部(西東京紫紺会)の運営は、校友会からの資金補助は無く、全て会員からの年会費と寄付でなされています。会報と一緒に振込用紙を同封致しますので、年会費の納入をお願い致します。
2. 小さな社会貢献として、古切手とベルマークを集めていますのでご協力ください。年一回、総会の時にお持ちくださるとありがたいです。
3. 「こんなことできたらいいな」「こんなイベントはどうだろうか」…アイデアが浮かびましたら、是非伊藤和明さん迄ご連絡をお願い致します。  
連絡先：kazitoh@hotmail.co.jp
4. ホームページへ、写真や随筆など奮って投稿してください。お待ちしております。

## ◆御岳溪谷散策のご案内 ~ハイキング同好会より~

秋の一日、奥多摩の御岳溪谷を散策しませんか。昨年、同様の企画を計画いたしましたが、コロナ禍や悪天候により中止した企画のりベンジです。

初めに、多摩川の河畔にある日本画家 川合玉堂の絵画を展示している「玉堂美術館」を見学し、その後、御岳溪谷沿いの遊歩道を寒山寺まで歩きます。

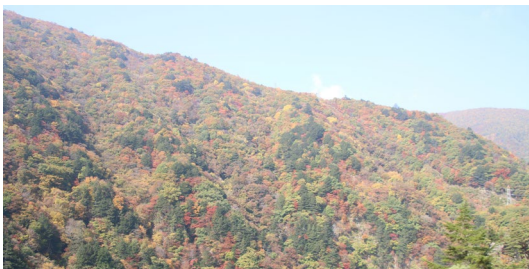


散策の後には、東京の銘酒 澤乃井の蔵元である小澤酒造が経営する澤乃井園(屋外)で、澤乃井の飲み比べをしながら昼食を取ります。皆様のご参加をお待ちいたします。

- 実施日： 11月20日(土)
- 集合： 8時30分 西武新宿線 田無駅改札
- 費用： 田無駅—御嶽駅 668円(IC優先料金)  
沢井駅—田無駅 580円(IC優先料金)  
玉堂美術館入館料 500円  
澤乃井園での昼食代金
- 申込及び問合せ先： 11月12日(金)までに幹事までご連絡ください。  
幹事：久保田  
スマートフォン 090-7723-5311  
PCmail kurea0203@ksn.biglobe.ne.jp

## 編集後記

緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が9月30日をもって全都道府県で解除されました。東京では1日あたりの新規感染者が一時千人を超えていましたが最近は二桁となり、街に人が戻りつつあります。やっと校友会の行事も再開です。信州の隠れ家から見える北アルプスは冬の気配をまとっています。下界はいよいよ紅葉シーズン、お勧めは中央道塩尻インターを降りて19号線(中山道)を南下し鳥居峠を越えて木曾川沿いを走ります。兩岸の赤く燃える山々を眺めつつ、道の駅 日義木曾駒高原でUターンして帰路につく、日帰りコースです。お蕎麦は「水車や」がお勧めです。引きこもり生活におさらばしてお出かけしましょう!!しばらくお会いできていない会員の皆様と再会できるのが今から楽しみです。(中村)



※写真は2年前の紅葉の様子、見ごろは11月上旬です。

発行：明治大学校友会 西東京市地域支部

事務局：西東京市泉町 5-16-19-602(濱田様方) Tel.042-421-3888

編集 広報委員会：中村俊信・木村美栄子

<http://www.meiji-ntk.com/index.html>